

5月15日（水）印南町国民平和大行進（和歌山～広島コース）

日本政府は禁止条約の署名・批准を!!



横断幕を持つ永瀬さん、榎本さん、山下さん



旧庁舎前を出ていく平和行進の隊列



5月15日（水）印南町での平和行進です。行進前に山下浩美さんと事務局で、町長室を訪問し、脇谷宗男副町長に平和行進へのご理解を求め挨拶をおこないました。

出発集会がおこなわれる前に、旧庁舎駐車場で参加者に署名の強力をお願いしました。

出発集会は、和教組日高支部の塩路さんが進行します。最初、印南町議会議員榎本一平議員が挨拶します。「2021年印南町では核兵器禁止条約に批准せよとの請願が町議会で採択されました。印南町民の総意として、国へ決議を送付しました。しかし、日本政府はがんとし署名しないです。日本政府は誰の目に見てそうになっているかというアメリカなんです。戦後80年もなっているのに、日本とアメリカも関係は上下関係なんです、対等ではないのです。」と禁止条約に署名しない日本政府について批判しました。県の実行委員会からも「被爆者の運動が禁止条約を誕生させた。そうした功績がノーベル平和賞の授与となった。」挨拶をおこないます。そして、印南町長のメッセージを山下浩美さんが読み上げて、紹介します。最後、集会アピールを永瀬さんが読み上げて確認されます。

横断幕を持って平和行進がスタートします。古い町並の中を歩いて、再び旧庁舎に戻ってくる平和行進でした。

集会・行進参加者は、18人でした。平和行進への募金は、7123円寄せられました。

県事務局